

# 【普通科】 2年次 【選択】 科目 「日本史B」授業のシラバス

## 1 概要

|          |                                                                                          |          |                                     |          |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------|----------|--------|
| 教科名      | 地歴公民                                                                                     | 科目名      | 日本史B                                | 単位数(コマ数) | 4(156) |
| 科目の目標    | ① 資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題を歴史的観点から考える。<br>② 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚や資質を養う。 |          |                                     |          |        |
| 教科書(出版社) | 詳説 日本史B(山川出版社)                                                                           | 副教材(出版社) | 図説 日本史通覧(帝国書院)<br>ポイント整理日本史(東京法令出版) |          |        |

## 2 学習の方法

### (1) 予習について

事前に教科書を読んでおいたり、副教材の『ポイント整理日本史』の空欄を埋めておくことをお勧めします。4単位授業のため、授業進度が早くなりますので、漫然と受けるだけでは、ついてゆけなくなる可能性が多分にあります。予習を通して、大枠をつかんでおくといいと思います。教科書を読むときも、5W1Hを意識して読むと、より理解が進みます。

### (2) 授業について

地歴公民科は授業で学習する情報量が他教科と比べると多い教科の一つといえます。したがって、復習との関係から必ずノートをつくる習慣を早期に身につけてください。小中学校までにノートをつくる習慣が身についている人でもなかなか大変ですが、ノートをとりながら授業を聴くようにしてください。もちろん、教員が黒板に書く事柄(板書)だけではなく、教員が話したことで自分が「重要だな」と思ったことは積極的にメモをとりましょう。ノートの取り方、書き方全般は自由としますが、年度初めの授業において、ノートのとりかたなどのガイダンスをする予定です。参考にしてください。

### (3) 復習について

理想をいえば、その日学習したことはその日のうちに復習するということでしょう。しかし、国語、数学、英語など予習、復習をしなければならない科目がたくさんあります。地歴公民科では、一週間ごとにまとめて復習することを提案しています。日本史Bは4単位ですので、それを週末にノートにまとめたり、『ポイント整理日本史』にマーカーや補足を書いたりしておくことで、歴史の大枠から、歴史の流れや重要な言葉を理解して欲しいと考えています。特に将来受験科目に日本史を考える人は、予習よりも復習に時間をかけて欲しいです。復習しなければ、知識はもとより思考力、判断力が身につかないからです。

### 〈学習アドバイス〉

時間と手間をかけずにものごとをマスターする方法はありません。じっくりと時間の許す限り何度も復習に取り組んでください。日本史は漢字が多いので、ただ読むだけではなく、書きながら覚えるようにしましょう。できれば、繰り返し勉強するための基礎的な問題集を1冊手元におき、勉強してほしいと思います。

※受験を考える人向けには

問題集 『はじめる日本史 改訂版』(Z会出版) その他、日本史B用語集(山川出版社)などの用語集

## 3 評価について

### (1) 評価の観点

| 観 点        | 趣 旨                                                                  |
|------------|----------------------------------------------------------------------|
| ① 関心・意欲・態度 | 我が国の歴史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について、意欲的に取り組むことができる。また、授業や課題にしっかりと取り組むことができる。 |
| ② 思考・判断・表現 | 我が国の歴史から課題を見出し、世界的視野にたって多面的に考察できる。また、考察したり判断したりした過程を適切に表現できる。        |
| ③ 資料活用の技能  | 資料や情報を効果的に活用することや適切に選択することができる。また、歴史的な事象について追究する学び方を身につけることができる。     |
| ④ 知識・理解    | 我が国の歴史についての基本的な知識を身につけることができる。また、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解することができる。      |

### (2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

| 評価材料       |     | 定期考査・単元テスト |                                           | 小テスト | ノート | 歴史地図 | ワークシート | 定期考査 | ワーク |
|------------|-----|------------|-------------------------------------------|------|-----|------|--------|------|-----|
| 観 点        | 割合  |            |                                           |      |     |      |        |      |     |
| ① 関心・意欲・態度 | 25% | ○          | 教科書教材の知識等に関わる問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど | ○    | ○   |      | ○      |      | ○   |
| ② 思考・判断・表現 | 25% | ○          | 考査における論述問題、歴史地図作成                         |      |     | ○    | ○      | ○    |     |
| ③ 資料活用の技能  | 25% | ○          | 考査における論述問題、ワークシートでのまとめ作業など                |      |     |      | ○      | ○    |     |
| ④ 知識・理解    | 25% | ○          | 教科書教材の知識等に関わる問題など                         |      |     |      |        | ○    |     |

### 〈担当者からのメッセージ〉

授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「日本史B」授業のシラバス

4 授業計画

| 月        | 単元                                  | 時数  | 学習内容                                                                     | 観点別評価          | 到達目標                                                                           | 考查等    |
|----------|-------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 前期<br>4  | ・ 原始・ 古代<br>日本文化のあけぼの               | 12  | ・<br>旧石器・ 縄文・ 弥生・ 古墳時代                                                   | ①<br>③         | 考古資料からこの時代の基本的な知識を身につけることができる。<br>各時代の特徴をつかみ、比較し、表現できる。                        | 前期中間考查 |
| 5        | 律令国家の形成                             | 16  | 奈良・ 奈良・ 平安（弘仁・ 貞観）                                                       | ①<br>③         | 史資料からこの時代の基本的な知識を身につけることができる<br>各時代の特徴をつかみ、大陸との関係をふまえながら、まとめることができる。           |        |
| 6        | 貴族政治と国風文化<br>・                      | 12  | 平安（摂関政治・ 国風文化）<br><br>原始・ 古代について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。            | ①<br>③         | 史資料からこの時代の基本的な知識を身につけることができる<br>この時期の特徴をつかみ、平安前期と比較し、違いをまとめることができる。            |        |
| 7        | 中世<br>中世社会の成立                       | 16  | 院政と平氏の台頭<br>鎌倉                                                           | ①<br>③         | 史資料からこの時代の基本的な知識を身につけることができる<br>貴族政権から武家政権の移行期であるこの時期の流れと違いを比較し、まとめることができる。    |        |
| 8        | 武家社会の成長                             | 8   | 室町<br>戦国時代                                                               | ①<br>③         | 史資料からこの時代の基本的な知識を身につけることができる<br>この時代の諸階層の成長を歴史的出来事と結びつけ、まとめることができる             |        |
| 9        | 近世<br>幕藩体制の確立<br>幕藩体制の展開<br>幕藩体制の同様 | 12  | 原始・ 古代・ 中世について、歴史地図を作成し、理解を深める。<br><br>織豊時代<br>江戸時代初期（～元禄）<br>三大改革期・ 化政期 | <br><br>①<br>③ | 史資料からこの時期の基本的知識を理解できる。<br>この時代の社会制度や社会思想の特徴をつかみ、時代の流れと変化をまとめることができる            | 前期期末考查 |
| 後期<br>10 |                                     | 20  | 中世・ 近世について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。                                  |                |                                                                                | 後期中間考查 |
| 11       | 近代・ 現代<br>近代国家の成立                   | 20  | 開国<br>明治維新<br>日清・ 日露戦争                                                   | ①<br>③         | 史資料からこの時期の基本的知識を理解できる<br>この時代の社会制度や社会思想の特徴を諸外国の動きと関連づけてまとめることができる。             |        |
| 12       | 二つの世界大戦とアジア                         | 12  | 第一次世界大戦と日本<br>ワシントン体制<br>恐慌の時代<br>軍部の台頭<br>第 2 次世界大戦                     | ①<br>③         | 史資料からこの時期の基本的知識を理解できる<br>この時代の社会制度や社会思想の特徴を諸外国との動きや帝国主義・ 全体主義と関連づけてまとめることができる。 |        |
| 1        |                                     | 8   | 近世・ 近現代について、歴史地図を作成し、理解を深める。                                             | ②              |                                                                                |        |
| 2        | 占領下の日本                              | 12  | 占領と改革<br>冷戦の開始                                                           | ①<br>③         | 史資料からこの時期の基本的知識を理解できる<br>民主主義へと移行していく時代の社会制度や社会思想の特徴を諸外国との動と関連づけてまとめることができる。   |        |
| 3        | 高度経済成長                              | 8   | 55 年体制<br>高度経済成長<br><br>近現代について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。             | ①<br>③         | 史資料からこの時期の基本的知識を理解できる<br>この時代の政治思想や経済復興の変遷を諸外国の動きと関連づけてまとめることができる              | 後期期末考查 |
|          |                                     | 156 |                                                                          |                |                                                                                |        |

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。